

R2B2

取扱説明書

目次

はじめに	2
安全上のご注意	3
各部の名称	10
仕様	12
ご使用前の準備	13
充電手順	16
作業手順	18
保守点検のポイント	22
保管方法	27
部品表	28
部品の注文方法	30
故障かな?と思ったら.....	30

本機はプロ用ブラインドリベット専用工具です。

この度はエビ印コードレスリベッターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ・お読みになった後も大切に保管してください。
- ・操作ができなくなった場合は「故障かな?と思ったら(P.30)」をご覧ください。
- ・本書の内容は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容の一部又は全部を無断で公開、複写、翻訳することは禁じられています。

株式会社 ロブテックス

コールセンター TEL (072) 980-1111 FAX (072) 980-1166

〒579-8053 大阪府東大阪市四条町12-8

ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

●はじめに

このたびは、エビ印コードレスリベッター（以降、本機と省略します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・本機は、エビ印ブラインドリベットをかしめ締結させるためのブラインドリベット専用工具です。他の用途を意図した設計・製造・販売はいたしておりません。
- ・本取扱説明書（以降、本書と省略します）には本機を安全に、しかも効率よくお使いいただくための正しい操作方法や保守点検の方法及び製品情報を記載しています。
- ・お使いになるリベットの仕様や強度は、お客様において十分設計検討されたリベットをご使用ください。

1 重要なお知らせ

- ・本機を取り扱う前に、必ず本書をよくお読みください。また、本機の手扱いや付属品の交換及び部品交換は本書の記載内容に従ってください。
- ・本書の内容につきまして、ご不明な点やご質問がございましたら、お買い求めの販売店又は当社コールセンターにお問い合わせください。
- ・本機に混在する危険の全てを予測し、本書に記載することはできません。本機を取り扱う際は、本書に記載されていることだけでなく、安全対策に関して十分配慮してください。
- ・本書は、日本語を原語として作成されています。お客様の責任において本書の内容を十分に理解してください。
- ・本書の著作権は「株式会社 ロブテックス」が所有します。本書の内容を無断で公開、複写、複製又は別の言語に翻訳することは禁じられています。

2 免責について

- ・本機の誤用、乱用、無断改造等が原因で発生した直接または間接の傷害、損失利益の補償及びリベットの強度等、リベット自身に関する保証はいたしません。
- ・当社には、当社の文書による承認のない改造により発生した一切の損害又は障害に対して何らの責任はないものとします。
- ・当社には、推奨部品以外の部品の使用により発生した一切の損害又は障害に対して何らの責任はないものとします。

取扱説明書改訂履歴	
品名	コードレスリベッター
型式	R2B2
初版発行年月日	2023年6月

●安全上のご注意



◆ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、十分理解したうえで正しく安全に使用してください。



◆本機をご使用中は、必ず保護めがねを着用してください。切断されたリベットのマンドレルが飛び出し傷害を及ぼすおそれがあります。

◆ここに示した注意事項は **△警告** と **△注意** に区別していますが、それぞれの意味は下記のとおりです。

△警告 : 誤った取り扱いをした際に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意

△注意 : 誤った取り扱いをした際に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合の内容のご注意

なお、**△注意** に記載した事項でも重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

△警告



必ず行う

1. 充電時、所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合、充電を停止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。充電を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
2. 電池パックの異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた場合は、直ちに使用を中止し、本機あるいは充電器より取り外す。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
3. 定格表示してある電源で使用する。
 - ・直流電源やエンジン発電機、変圧器、昇圧器等のトランス類等では使用しないでください。異常発熱、発火の原因になるおそれがあります。
4. 電池パックは、換気の良い所で充電する。
 - ・電池パックや充電器を、充電中に布等で覆わないでください。発熱、発煙、発火等の原因になるおそれがあります。

警告

5. 充電器の使用中に発煙、異臭等の異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
6. 電池が漏液したり異臭がしたりする場合は、直ちに使用を中止し火気より遠ざける。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
7. 電池パック及び充電器を丁寧に扱う。
 - ・電池パック及び充電器を落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
 - ・電池パック及び充電器を分解したり、改造したりしないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
 - ・事故やけがの原因になるおそれがあります。
8. 電池が漏液した場合、素手で液を触らず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入った場合、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
9. 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になるおそれがあります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
10. 使用中に、動作不良、発熱、発煙又は異音等の異常が認められる場合、直ちに電池パックを取り外し、使用を中止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
11. 専用の純正部品のみを使用する。
 - ・本書及び当社カタログに記載されている純正部品以外のものは使用しないでください。重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
12. 作業場の周囲状況も考慮する。
 - ・事故やけがの予防となります。
13. 作業場は、十分に明るくする。
 - ・暗い場所での作業は、事故やけがの原因になるおそれがあります。



必ず行う

警告



必ず行う

14. 保護具、保護めがねを常に使用する。
 - ・ 防塵マスク、安全靴、ヘルメット、聴覚保護具等を適切に利用し、事故やけがを事前に防止してください。
15. 部品や付属部品の取り換えは指定の手順に従って行う。
 - ・ 指定の手順に従わないと、故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
16. 不意な作動は避ける。非作業時は、トリガスイッチに指や物を触れないようにする。
 - ・ トリガスイッチに指をかけて運ばないでください。不意に始動して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
17. 使用しない場合、その他危険が予想される場合は、本機のスイッチを切り、電池パックを本体から取り外す。
 - ・ 不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
18. 保守、点検、部品の交換を行う際は、必ず電池パックを取り外す。
 - ・ 不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
19. 2個以上の電池パックを連続して使用する場合は、本体を15分程度休止させる。
 - ・ 本体の温度が過剰に上昇し、火傷をするおそれがあります。



禁止

20. 充電器の使用温度範囲外では、電池パックを充電しない。
 - ・ 正しく充電されないばかりか、電池パックの寿命が短くなります。また、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
21. 劣化した電池パックは使用しない。
 - ・ 漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
22. 電池パックを水のような導電体に浸さない。また電池パックの内部に水のような導電体を侵入させない。
 - ・ 電池パック内部に水のような導電体が侵入すると短絡し、発熱、発火、破裂のおそれがあります。
23. 使用済み電池パックは一般家庭ごみとして捨てない。
 - ・ 捨てられた電池パックがごみ収集車内等で破壊されて短絡し、火災等の事故の原因になるおそれがあります。
24. 強い静電気の発生する場所では使用しない。
 - ・ 異常動作、漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
25. (+) と (-) とを逆に使用しない。
 - ・ 漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。

警告



禁止

26. 電池パックを直接コンセントや自動車のシガレットライターに接続しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
27. 電池パックを電子レンジや高圧容器に入れる等して加熱や高圧を与えない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
28. 電池パックを指定機器以外の用途に使用しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
29. 電池パックを取り外す際、電池パックにクリップ、コイン、鍵、ねじ又は釘等の金属類を近づけない。
 - ・電池パックが短絡し、感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
30. 電池パックの端子間を短絡させない。
 - ・ピン等の金属類と一緒に持ち運んだり保管したりすると短絡して、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
31. 電池パックを火中に投入しない。
 - ・有害物質の発生、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
32. 電源プラグやケーブルが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しない。
 - ・感電、発熱、発煙、発火等のおそれがあります。
33. 可燃性の液体やガスのある場所で使用したり充電したりしない。
 - ・発煙、発火、爆発等のおそれがあります。
34. 雨中や湿った場所又は濡れた場所で、使用したり充電したりしない。
 - ・感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
35. 濡れた手で電源プラグに触れない。
 - ・感電のおそれがあります。
36. 疲れている場合やアルコール、治療薬物等により動作や思考力が低下しているときは使用しない。
 - ・重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
37. 改造はしない。また、分解したり修理をしない。
 - ・本機は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は必ずお買い求めの販売店又は当社にご相談ください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になるおそれがあります。
38. ほこりや粉塵の多い場所で使用、保管しない。
 - ・内部に粉塵等の異物が入ると、発熱、発煙、発火等、事故の原因になるおそれがあります。

警告



禁止

39. リベッターの先端をあなた自身又は他の人に向けない。
 - ・予期せずリベットが飛び出し、けがをするおそれがあります。
40. マンドレルコレクター（廃マンドレル用タンク）を取り付けずに使用しない。
 - ・リベットのマンドレルが勢いよく飛び出し、事故やけがの原因になるおそれがあります。
41. 適応リベット径以外のリベットをリベッティングしない。
 - ・事故やけがの原因になるおそれがあります。
42. ノーズピース、イジェクトパイプの穴をのぞかない。
 - ・切断後のリベットのマンドレルが飛び出し、けがをするおそれがあります。
43. 発煙したときは、煙を吸い込まない。
 - ・身体に害を及ぼすおそれがあります。
44. 通風孔をふさがない。
 - ・やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
45. 通風孔から出る熱風を直接肌に当てない。
 - ・高温になっており、火傷をするおそれがあります。
46. 作業直後は金属部分に触れない。
 - ・高温になっており、火傷をするおそれがあります。

注意



必ず行う

1. 充電器は、注意深く手入れをしてください。
 - ・充電器の電源ケーブルは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店 又は当社に修理を依頼してください。感電やショートして発火のおそれがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 充電器を使用しない場合は充電器の電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。

⚠ 注意

3. 電源プラグ及びコンセントにたまったほこりや汚れは、乾いた布でふき取る。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。
4. 充電時以外、電池パックは充電器から抜く。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。
5. 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
 - ・コードを持って抜くと感電、短絡の原因になるおそれがあります
6. 使用環境に合った延長コードを使用する。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行う。
 - ・工具を使用する場合は、取扱方法、作業方法、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
 - ・疲れている場合は使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。
8. 損傷した部品がないか点検する。
 - ・使用前に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の取付け状態、部品の破損、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・トリガースイッチの操作で始動及び停止の出来ない場合は、使用を中止してください。異常動作により、事故やけがの原因になります。
9. 使用しない場合は、きちんと保管する。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所又は鍵のかかる所に保管してください。事故やけがの原因になるおそれがあります。
10. 作業場は、いつもきれいに保つ。
 - ・散らかった場所や作業台は、事故の原因になるおそれがあります。
11. 雷が発生している場合は充電せず、電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・落雷による故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
12. 適切な服装で作業する。
 - ・長い髪は帽子やヘアカバーで覆う等し、だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。巻き込まれ、けがの原因になるおそれがあります。
13. 購入後、初めて使用する際に、大きなさび、損傷、異臭、発熱又はその他異常が認められた場合は、使用を中止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。



必ず行う

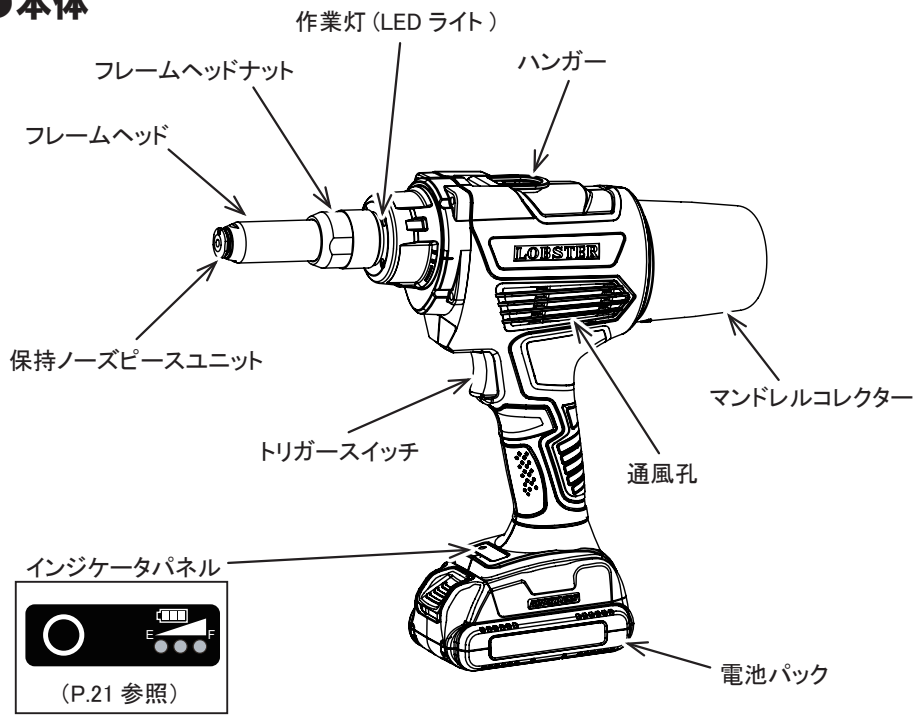
⚠ 注意



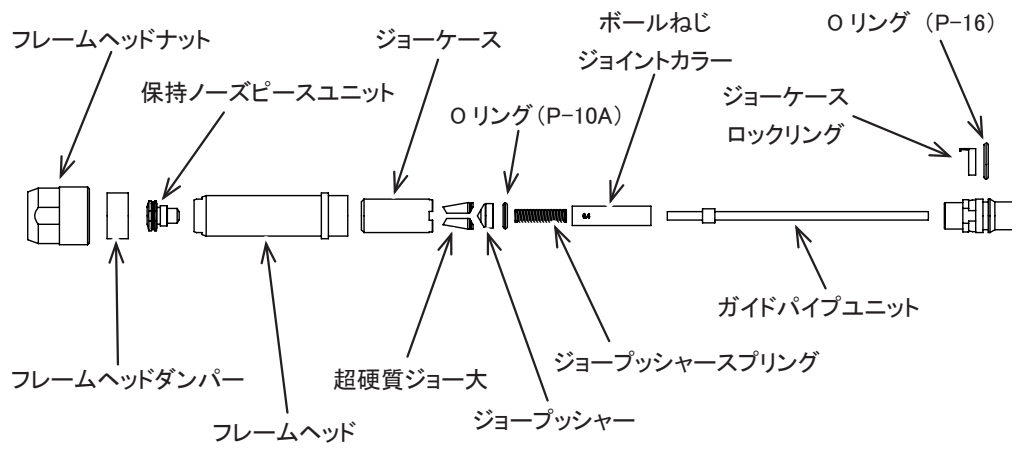
14. 高所作業の際は下に人がいないことを確認する。
 - ・材料、本機又は切断後のリベットのマンドレルの落下等、事故の原因になるおそれがあります。
15. 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。
 - ・守らないと火傷をするおそれがあります。
16. 充電器の電源ケーブルを乱暴に扱わない。
 - ・電源ケーブルを持って充電器を運んだり、電源ケーブルを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
 - ・電源ケーブルを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・電源ケーブルが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷する事がないように充電する場所に注意してください。感電やショートによる発火のおそれがあります。
17. 温度が 50°C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車中等）に保管しない。
 - ・劣化の原因になり、感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
18. 無理して使用しない。
 - ・安全に能率よく作業するために、能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は事故の原因になるおそれがあります。
 - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発熱、発煙、発火のおそれがあります。
19. 無理な姿勢で作業しない。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
20. フレームヘッドを外した状態で本機を操作しない。
 - ・指等をはさみ、けがをするおそれがあります。
21. 切断後のリベットのマンドレルを散乱させない。
 - ・マンドレルが散乱すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
22. LED ライトの光を直接目に当てない。
 - ・LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になるおそれがあります。
23. 子供を近づけない。作業員以外、工具や充電器、電源ケーブルに触れさせない。
 - ・トラブル、事故やけがの原因になるおそれがあります。
24. 不必要な油や異物がついた状態で使用しない。
 - ・落下して事故になるおそれがあります。また、内部に侵入すると、感電、発煙、発熱、発火、破裂のおそれがあります。かわいた布などで除去してください。

●各部の名称

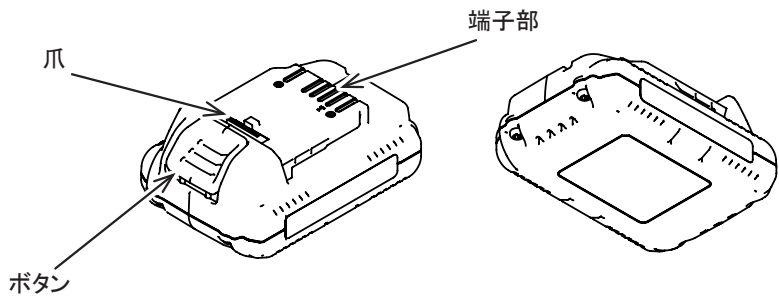
●本体



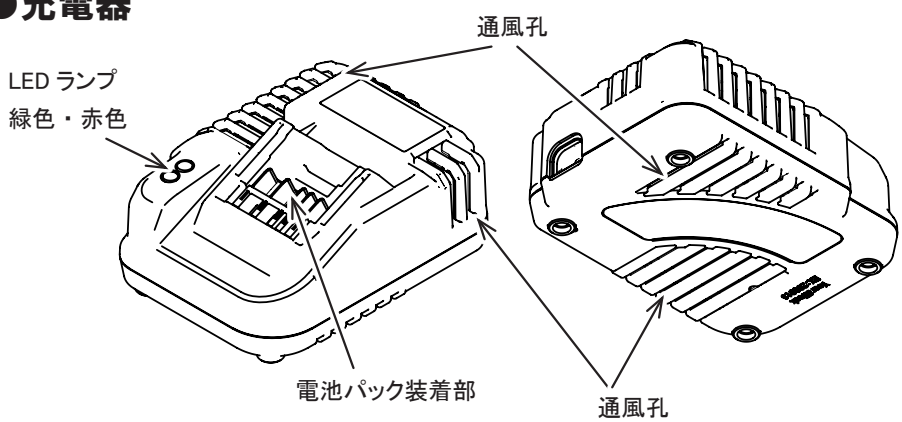
●フレームヘッド周辺および内部



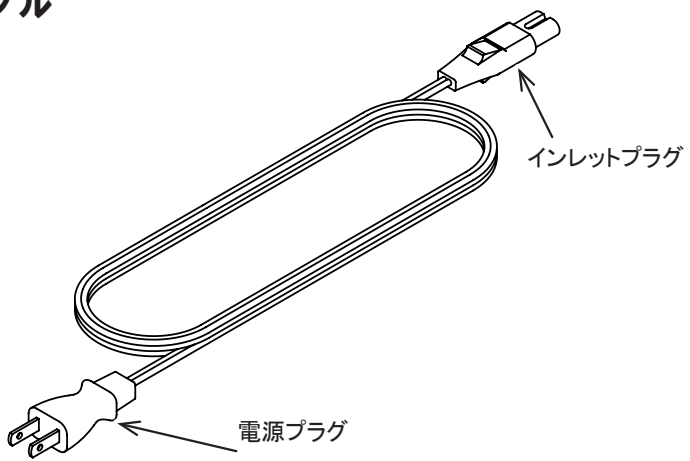
●電池パック



●充電器



●電源ケーブル



● 仕 様

取付電池容量		標準容量	大容量（オプション）	
本 体	品番	R2B2		
	重量	2.3 kg	2.6 kg	
	使用電源	DC 18 V		
	大きさ	L330 × W76 × H277mm	L330 × W76 × H296 mm	
	工具ストローク	25 mm		
	公称出力	19.6 kN		
	適応リベット径	φ 4.8・6.4 mm		
	動作環境	周囲温度	0 ~ 40 °C	
	騒音	80 dB (LpA)		
	振動	2.5 m/sec ² 以下		
電池 パ ック	品番	BPL-1825	BPL-1850	
	電池	Li-ion 蓄電池		
	定格電圧	DC 18 V		
	定格容量	2.5Ah	5.0Ah	
	重量	400 g	690 g	
	大きさ	L116 × W76 × H49 mm	L116 × W76 × H68 mm	
充 電 器	品番	BC037T		
	使用電源	AC 100 ~ 240 V		
	定格充電電圧	20.75 V		
	定格充電電流	2.3 A		
	充電時間	65 分	130 分	
	大きさ	L145 × W109 × H70 mm		
	重量	395 g		
	動作環境	周囲温度	0 ~ 40 °C	

※製品の仕様、デザインは予告なく変更することがあります。

※大きさ、重量等は標準値ですので多少の数値の上下があります。

※定格銘板の配置場所（注意・警告銘板取り付け位置）は、本体下部及び本体側面にあります。

※シリアル No. は本体底面に 3 ケタの英字と 5 ケタの数字で表示されています。

※仕様に記載のリベット径でも締結出来ないリベットがあります。

製造年度の見方

製造年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
略号	A	B	M	N	K	W	T	Y	U	O	L	Z

例) 20^②^③年^⑤月
 ↓ ↓ ↓
 B M K
 ⇒ BMK ○○○○○

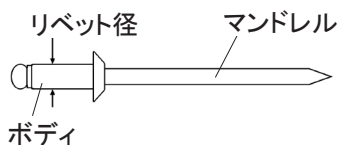
シリアル No.

●ご使用前の準備

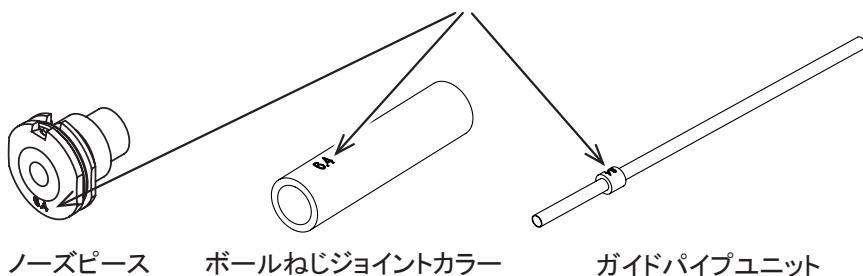
1 電池パックをご使用前に充電してください。(P.16 参照)

2 ご使用のブラインドリベットのサイズに合わせて部品（ノーズピース、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニット）を交換してください。(P.22 参照)

リベットサイズ (リベット径)	ノーズピース & ボールねじジョイントカラー & ガイドパイプユニット 刻印
φ 4.8	4.8
φ 6.4	6.4



サイズ表示の刻印



ノーズピース、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニットの交換だけで各サイズの標準的なブラインドリベットが使用できます。ご購入時にはφ 6.4 サイズ用のノーズピース、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニットが取り付けられています。

⚠ 注意

ブラインドリベットが挿入できても、正しくない組み合わせの部品で作業しないでください。故障や事故の原因となります。

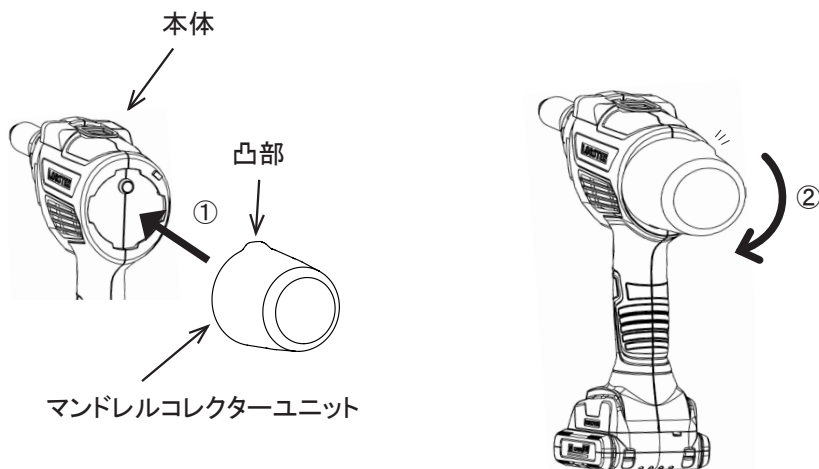
- 3** マンドレルコレクターユニットの中に異物がないか確認してください。
マンドレルコレクターユニットを凸部が真上になるまで反時計周りに回し、取り外してください。その後、マンドレルコレクターユニットの中に、何も入っていない状態にしてください。



⚠ 注意

マンドレルコレクターユニット内に異物が入ったまま使用した場合、マンドレルの排出が阻害されリベッターの故障の原因となるおそれがあります。

- 4** マンドレルコレクターユニットを装着してください (①)。
マンドレルコレクターユニットは、凸部が真上になるように取り付け、回らなくなるところまで時計回りに回してください (②)。

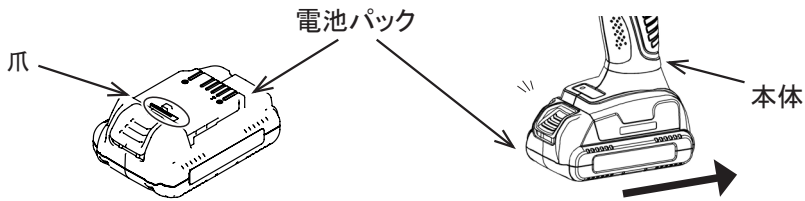


⚠ 注意

本機は安全の為、マンドレルコレクターユニットを取り付けないと動作しないようになっています。

また、マンドレルコレクターユニットが破損した場合は新しいものと交換してください。
破損したままご使用されると、切断されたブラインドリベットのマンドレルが勢いよく飛び

- 5** 電池パックを装着してください。
電池パックは、爪が本体に『カチッ』とかみ合うまで確実に装着してください。



⚠ 注意

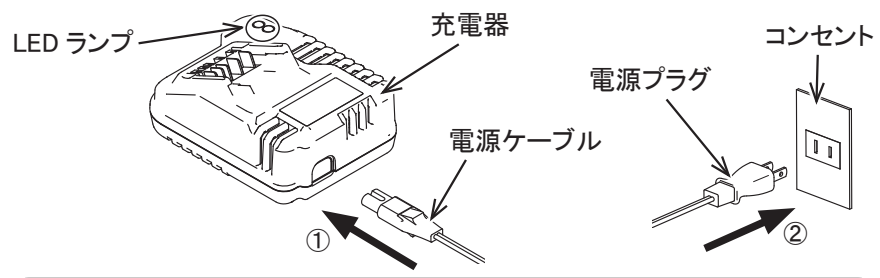
急に作動する場合がございますので、可動部に触れずに電池パックを取りつけてください。

- 6** リベットインク作業を開始する前にトリガースイッチを引いて、正常に動作するかを確認してください。
確認できましたら、ご使用前の準備は完了です。

●充電手順

充電には必ず専用充電器をご使用ください。

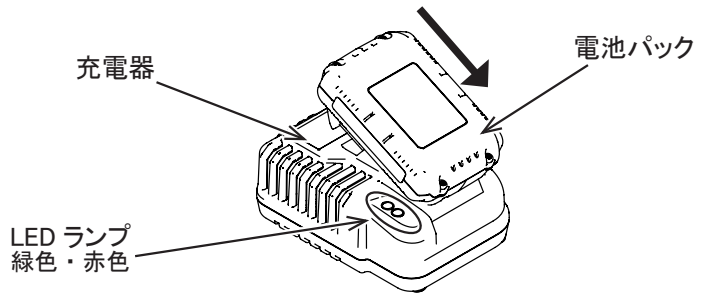
- 1** 充電器に電源ケーブルを接続し (①)、コンセントに電源プラグを差し込んでください (②)。
通電すると緑色 LED ランプがゆっくり点滅します。



⚠ 注意

この充電器は交流 100V から 240V にて使用できますが、日本国内においては安全規格上、交流 100V にてご使用ください。
直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

- 2** 電池パックを充電器の奥までしっかり差し込んでください。
奥まで差し込むと、LED ランプの点灯状態が変化します。
各ランプの表示内容は次表のとおりです。



LED ランプ点灯状態		表示内容
赤色	緑色	
-	点滅 (低速)	充電待機中 (充電器が通電している状態)
点灯	-	充電中
-	点滅 (高速)	実用充電完了 (80% 充電完了)
-	点灯	満充電完了 (充電完了)
点滅 (低速)	-	適正温度外のため充電停止中
点灯	点灯	充電不可 (異常状態)

⚠ 注意

電池パックの温度が高いとき、又は低いときは電池パックの保護のため充電されません。

電池パックが適正な温度になると充電を開始します。

充電は 0 ~ 40℃ の環境で行なってください。

- 3** 充電が完了しましたら、電池パックを充電器から取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

締結可能本数 (目安)

電池パック満充電の場合の連続締結可能本数です。 [本]

リベット ボディ径	電池パック 2.5Ah (標準)	電池パック 5.0Ah (オプション)
φ 4.8	700	1400
φ 6.4	600	1200

※締結本数は目安です。

使用リベット、母材仕様及び電池パックの状態等によって変わります。

● 作業手順

● リベッティング作業

⚠ 警告

- ・絶対にノーズピースの穴をのぞき込まないでください。切断されたマンドレルが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- ・下向きに作業される場合、切断されたマンドレルがノーズピースから排出される場合がありますので、ご注意ください。
- ・異音、異臭、発煙等異常が見られた場合は直ちに本体から電池パックを取り外してください。異常の原因が不明な場合は当社にお問い合わせ又は修理を依頼してください。

<使用温度> 周囲温度が0℃～40℃の範囲でご使用ください。

1 リベッティングする母材の厚さにあったサイズのブラインドリベットを選択してください。

2 ブラインドリベットサイズに合わせてノーズピース、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニットを交換してください。(P.13「ご使用前の準備」**2**参照)

3 リベッティングする母材に正しい下穴（リベット径よりφ 0.1～0.2mm大きい）を開けてください。



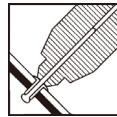
4 ブラインドリベットのマンドレルをリベッターの先端に挿入してください。



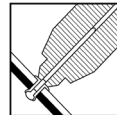
⚠ 注意

ブラインドリベットのマンドレルの先がとがっているものもあります。指を傷つけないように注意してください。

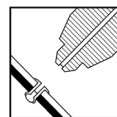
- 5 ブラインドリベットの本体を下穴に差し込んでください。



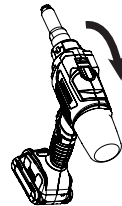
- 6 リベッターの先端を母材に軽く押し当て、母材等にすき間がないことを確認後、トリガースイッチを引いてください。



- 7 母材にブラインドリベットの本体がリベティングされます。



- 8 リベッターを後方に傾けて、トリガースイッチをはなし、切断されたマンドレルをマンドレルコレクター、又は外部に排出してください。

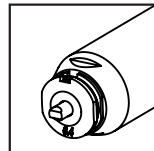


⚠ 注意

マンドレルが確実に排出された後、次のリベティングに移ってください。

切断されたマンドレルがノーズピース先端から突き出る場合がありますが、故障ではございません。

突き出たマンドレルを取り除いて作業を継続してください。



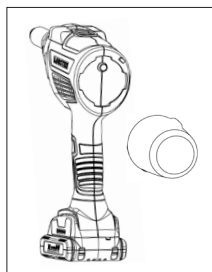
⚠ 注意

マンドレルの破断面が尖っています。手を傷付けないようご注意ください。

- 9 マンドレルがマンドレルコレクターに半分ほどたまりましたら、マンドレルコレクターを取り外して、中のマンドレルを廃棄してください。(P.13,14「ご使用前の準備」3 4 参照)

⚠ 注意

マンドレルがたまりすぎると、マンドレルの排出が阻害され逆流やリベッターの故障につながります。
こまめにマンドレルコレクター内のマンドレルを廃棄してください。



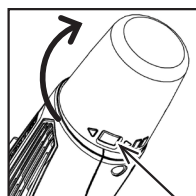
マンドレルコレクター収容能力の目安

リベットボディ径	収容能力 [本]	廃棄目安 [本]
φ 4.8	250	150
φ 6.4	130	80

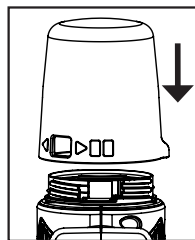
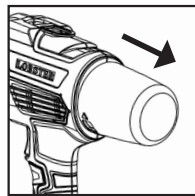
※収容能力は目安です。使用リベットのマンドレル径や長さによって変わります。

⚠ 注意

切断されたマンドレルが引っ掛かり、マンドレルコレクターが外れなくなる場合があります。その場合、マンドレルコレクター下部のボタンを押しながら時計回りに回してタンクを外してください。マンドレルを取り除いた後、再びタンクを取り付けてください。タンクを取り付ける際は、タンク下部の『□□』マークをボタンの位置に合わせ、奥まで押し込みます。その後、タンクをボタンが溝にはまるまで反時計回りに回して取り付けてください。



ボタン

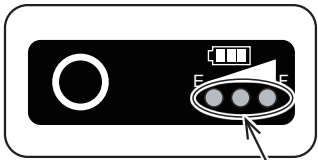


＜マンドレルを前方排出したい場合＞

リベティング後のマンドレルを前方排出したい場合は「部品表のオプション品 (P.29 参照)」の保持機構のないノズピースを使用しリベティング後、トリガースイッチを引いたまま排出したい位置に本機を移動させトリガースイッチを離してください。

●電池残量の表示

1 リベッターを動作させると、現在の電池残量が LED ランプの点灯で下表のとおり表現されます。(満充電時の締結可能本数は P.17 参照)



電池残量表示
LED ランプ × 3

LED ランプ点灯状態			表示内容
左端	中央	右端	
点灯	点灯	点灯	残容量 100 ~ 70%
点灯	点灯	-	残容量 70 ~ 30%
点灯	-	-	残容量 30%未満
点滅	-	-	残容量不足 ※ 1
-	-	-	電池未装着 ※ 2

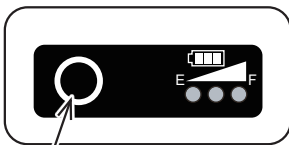
※ 1 電池を充電してください。
※ 2 電池を装着してください。

2 LED ランプは点灯後、2 秒で消灯します。

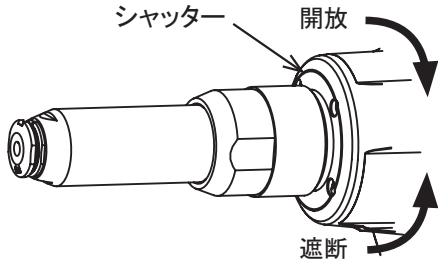
●作業灯 (LED ライト) の点灯

1 リベッターを動作させるとリベッター前面に設置された作業灯が点灯し、動作停止後約 10 秒で消灯します。

2 動作停止後 10 秒以内に、本体下部の作業灯切替ボタンを押下すると、リベッター作動時の点灯 / 非点灯を切り替えられます。
また、シャッターを回すことで作業灯の光を遮ることが出来ます。



作業灯
切替ボタン



●保守点検のポイント

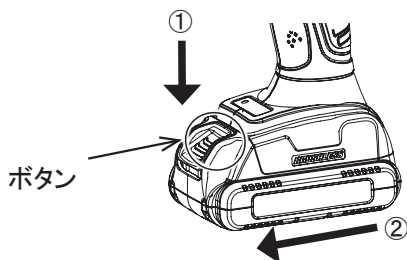
●フレームヘッド内部の清掃 ※交換部品の取換えの際もご参照ください。

リベッティングを長時間行くと、マンドレルの切粉やごみが各部にたまりトラブルの原因となります。本書の記載内容に従って、定期的に掃除を行ってください。
切粉がたまるとジョーの円滑性が損なわれ、正常な作業ができなくなります。
リベッティング本数 2,000 本に一度程度を目安に掃除してください。

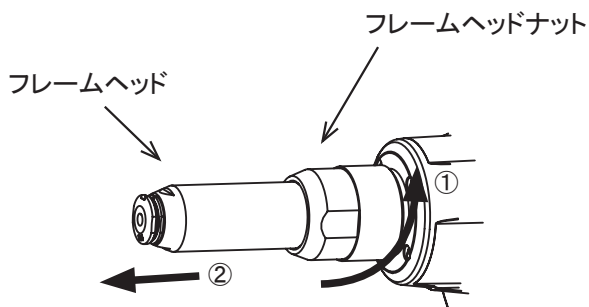
▲ 注意

本機のお手入れ、部品交換等の分解時には、必ず電池パックを取り外してください。電力が供給された状態で手入れや分解を行うと、部品の飛び出し、感電、予期せぬ動作等により、事故や障害を負うおそれがあります。
フレームヘッドを外した状態で本機を操作しないでください。指をはさむ等、障害を負うおそれがあります。

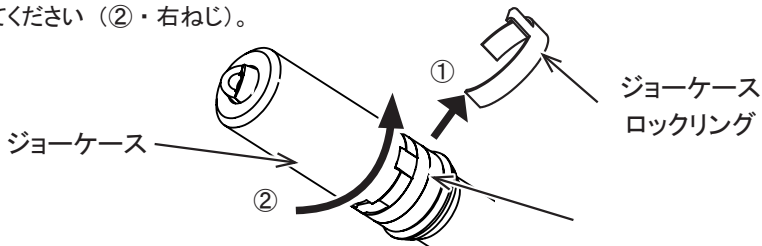
- 1** 電池パックを本体から取り外してください。
ボタンを押し下げながら (①)、電池パックをスライドさせてください (②)。



- 2** フレームヘッドナットを緩めて外し (①・右ねじ)、フレームヘッドを引き抜いてください (②)。



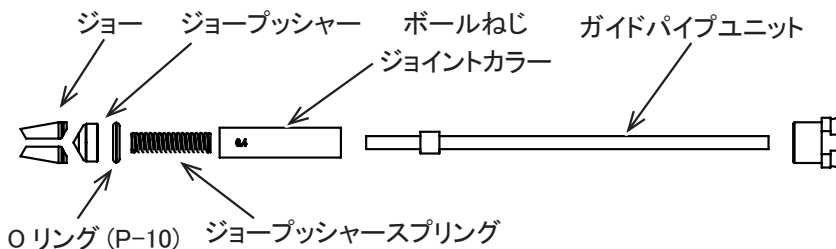
- 3** ジョーケースロックリングを取り外し (①)、ジョーケースを緩めて外してください (②・右ねじ)。



△ 注意

ジョーケースロックリングの紛失にご注意ください。ジョーケースロックリングを使用せずリベッティングを行うと、ジョーケースが緩み破損するおそれがあります。

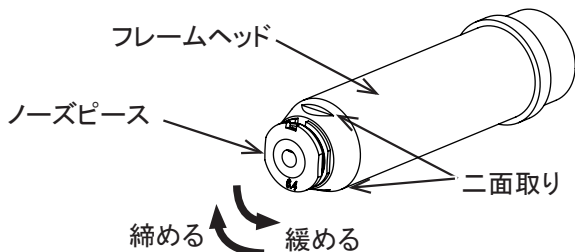
- 4** ジョー、ジョープッシャー、Oリング、ジョープッシャースプリング、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニットを取り出してください。



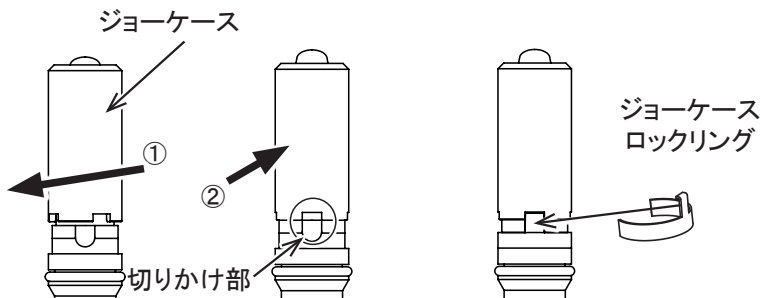
△ 注意

ジョー、ジョープッシャー、Oリング、ジョープッシャースプリング、ボールねじジョイントカラー、ガイドパイプユニット、ジョーケース、ノーズピースは定期的な交換が必要な部品です。傷んだり破損している場合は、交換を行ってください。

ノーズピースの清掃・交換をする際は、ノーズピースの二面取りとフレームヘッド先端の二面取りに付属のレンチ等の工具を掛けて作業してください (右ねじ)。



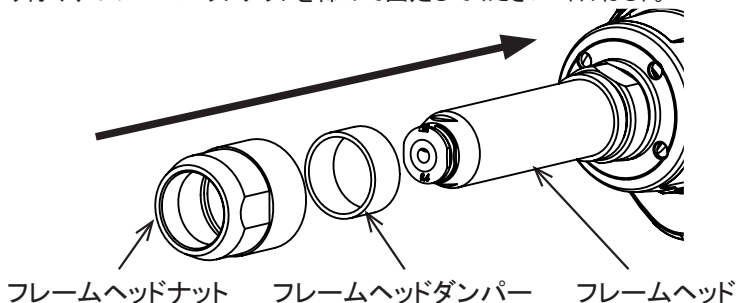
- 8 ジョーケースをいっぱいまで締め（右ねじ）（①）、そこから最初に切りかけ部が合わさる位置まで戻してください（②）。ジョーケースロックリングの爪を切りかけ部に合わせ、挿し込んでください。ジョーケースが自由に回転しなくなったことを確認してください。



⚠ 注意

ジョーケースロックリングを取り付けたらジョーケースが固定されているかジョーケースを締め付け・緩み方向に回転させロックしていることをご確認ください。ジョーケースが自由に回転すると、使用中に緩み、破損するおそれがあります。

- 9 フレームヘッド、フレームヘッドダンパー、フレームヘッドナットの順番で本体に取り付け、フレームヘッドナットを締めて固定してください（右ねじ）。



⚠ 注意

フレームヘッドナットのかじりを防止するため、ねじ部に潤滑油等を塗布してください。

- 10 全ての部品を組み立てましたら、正常に動作するかを確認してください。確認できましたら、フレームヘッド内部の清掃は完了です。

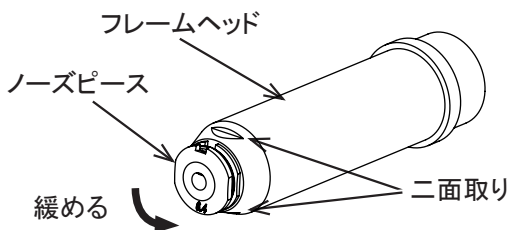
● ノーズピースの清掃

リベットを挿入しても保持が弱い又はできない場合は、ノーズピースの平行ピンが入っている穴と平行ピンを清掃、潤滑してください。

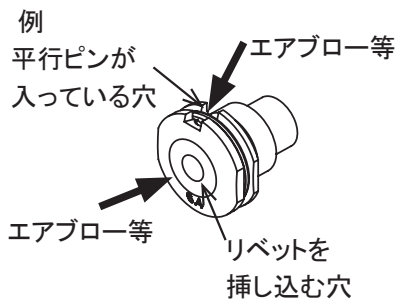
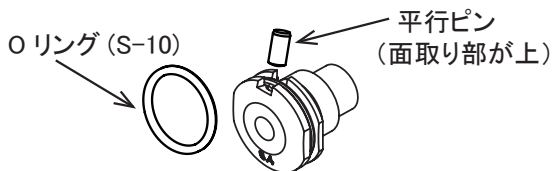
△ 注意

部品が小さいので、紛失に注意してください。

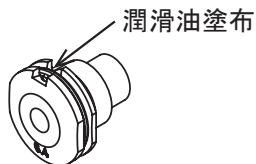
- 1** フレームヘッドナットを緩めて外し、ノーズピースをフレームヘッドごと本体から取り外します。付属のレンチでフレームヘッド先端の二面取りをおさえながらノーズピースの二面取りにレンチ等の工具を掛けてねじを緩め、ノーズピースを取り外してください（右ねじ）。



- 2** 先の細い棒等でOリングを取り外し、穴から平行ピンを取り出し、ノーズピース、平行ピンをエアブロー等で清掃してください。



- 3** 清掃後、平行ピンが入る穴に粘度が低めの潤滑油等を塗布し、平行ピンとOリングを用いて再度組み立てます。溢れた潤滑油は拭き取ってください。



△ 注意

清掃しても症状が改善されない場合は、ノーズピース自体の交換を行なってください。

● 充電器の点検

電源プラグをコンセントに挿す前に電源ケーブルが破損していないか、端子部にゴミ等がないか確認してください。

● 清掃

本体、電池パック及び充電器は、やわらかい布でふいてください。
シンナー・ベンジン等の有機溶剤の使用は変形、変色、割れ等の原因となります。

● 電池パックの寿命

電池パックには寿命があります。正しく充電しても極端にリベッティング本数が少なくなった場合は、電池パックの寿命です。新しい電池パックにお取替えてください。

⚠ 警告

当社指定以外の電池パックや改造されたもの（電池パック内の蓄電池等を交換したものを含みます。）を絶対に使用しないでください。

使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いません。

<リサイクルについて>

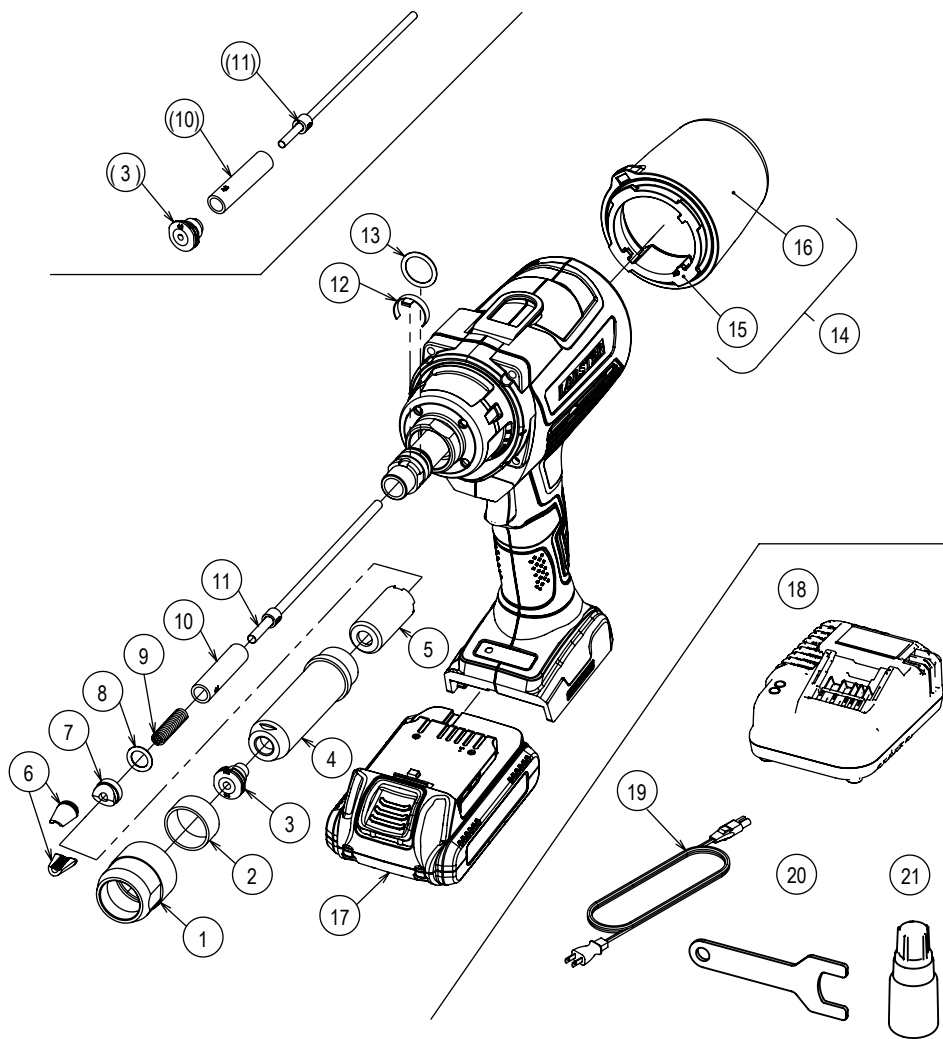
- ・この製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な電池パックです。
- ・貴重な資源のリサイクルと環境保護の為に不要になった電池パックは、お買い上げの販売店へお持ち頂けますようお願いいたします。（電池パックは、短絡防止のため必ず端子部に絶縁テープ等を貼ってください。）
- ・工具を廃棄する際は、国、各自治体の廃棄物に関する法、規制、条例等に従って処分してください。



● 保管方法

使用後はお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。
また長時間使用されない場合は、電池パックを本体より取り外しておいてください。
長期間（六ヶ月以上）使用しない場合は35℃以下の場所で保管してください。
電池パックの過放電を防ぐため定期的に応用充電容量まで充電を行なってください。
また、本体や充電器に挿したまま保管しないでください。

● 部品表



番号	部品名	コード No.	消耗 部品	材質
1	フレームヘッドナット	69439		アルミニウム
2	フレームヘッドダンパー	69438	○	ゴム
3	保持ノズピースユニット -6.4 ※	69431	○	スチール
3-1	平行ピン SUS303 A3x6	69435	○	ステンレス
3-2	Oリング S-10	10151	○	ゴム
(3)	保持ノズピースユニット -4.8	69432	○	スチール
(3)-1	平行ピン SUS303 A3x6	69435	○	ステンレス
(3)-2	Oリング S-10	10151	○	ゴム
4	フレームヘッド	69436		スチール
5	ジョーケース	63990	○	スチール
6	超硬質ジョー大	10493	○	スチール
7	ジョープッシャー	63991	○	スチール
8	Oリング P-10A	10337	○	ゴム
9	ジョープッシャースプリング	63992	○	スチール
10	ボールねじジョイントカラー 6.4 ※	70308	○	スチール
(10)	ボールねじジョイントカラー 4.8	70309	○	スチール
11	ガイドパイプユニット 6.4 ※	69444	○	①
(11)	ガイドパイプユニット 4.8	69445	○	①
12	ジョーケースロックリング	63959		スチール
13	Oリング P-16	28634	○	ゴム
14	マンダレルコレクターユニット	70499		③
15	マンダレルコレクターアダプター	70500		③
16	マンダレルコレクター	70501		③
17	電池パック BPL-1825	-	○	②
20	板スパナ	70532		スチール
21	モリブデングリisset	試供品		油

- ・※マークの部品が出荷時に組付けられています。括弧付きの部品番号は付属品です。
- ・消耗部品の項目に○印がある部品は定期的な交換が必要とされている部品です。
- ・材質①には真鍮、ステンレスが含まれています。
- ・材質②はリチウムイオン蓄電池です。法令等に従ってリサイクルを行なってください。
- ・材質③にはプラスチックとスチールが含まれています。
- ・当社グループが販売する一部リベットについては、特殊なノズピース等の部品が必要になる場合があります。

オプション品

	ノズピース 4.8(保持機構無)	10216	○	スチール
	ノズピース 6.4(保持機構無)	10226	○	スチール
	大容量電池パック BPL-1850	-	○	②

- ・オプション品表に記載のノズピースはリベット保持機構がついていません。

充電器

18	充電器 BC037T	-		電子機器
19	電源ケーブル	68758	○	④

- ・BC037Tには電源ケーブルが同梱されています。
- ・材質④には銅、プラスチック、ゴムが含まれています。

● 部品の注文方法

下記のように機種名、部品名、コード No.、数量を明記して販売店、又は当社にご注文ください。

(例)	機種名	部品名	コード No.	数量
	R2B2	超硬質ジョー大	10493	1 セット
	R2B2	ジョープッシャー	63991	1 個

▲ 注意

部品が改良された場合、旧部品の保有期間は5年となっておりますのでご了承ください。

● 故障かな?と思ったら

故障とお考えの前に以下の項目の確認を行なってください。全て確認しても当てはまらない場合は当社にお問い合わせ又は修理を依頼してください。

お問い合わせ又は修理依頼の際は、以下の項目を確認していただき、使用状況、症状等を出来るだけ詳しく連絡していただけますと、修理上がり納期を短縮することにもなりますのでよろしく願いたします。

症状	原因	処置
リベットが入らない、又はリベッティング後マンドレルが抜けない。	ノーズピース、ボールねじジョイント又はガイドパイプユニットの選定ミス。	リベットサイズにあった正しい部品に交換してください。(P.13 参照)
	ノーズピースの緩み。	レンチ等で完全に締め付けてください。(P.23 参照)
	ジョーケース部の組立不良。	ジョーケース内の部品の取り付け順序を確認してください。(P.24 参照)
	ジョーとジョーケースの接触面の潤滑不足(かみつき)。	ジョーとジョーケースの内側の掃除をしてジョー背部にエビ印潤滑油をつけてください。(P.22-25 参照)
	ジョーケース、ジョープッシャー、ボールねじジョイント又はガイドパイプユニット内でマンドレルが重なっている、詰まっている。	ジョーケースを外し、ジョーケース内、ジョープッシャー内、ボールねじジョイント内又はガイドパイプユニット内に詰まっているマンドレルを取り除いてください。

症状	原因	処置
フレームヘッド内でマンドレルがつぶれる。	マンドレルの排出忘れ。	マンドレルをマンドレルコレクターに排出してから次の作業を行ってください。
1度の動作でリベットが切断できない。	リベットが使用板厚に適していない。	板厚に合った適正なリベットをご使用ください。
	ジョーケース部の組立不良。	ジョーケース内の部品の取り付け順序を確認してください。(P.24 参照)
	ジョーが磨耗している。	ジョーを交換してください。
	ジョーの潤滑不足。	ジョーとジョーケースの内側の清掃を行い、ジョー背部にエビ印潤滑油を塗布してください。(P.22-25 参照)
	マンドレルが長い (対応板厚が特に厚いリベットをご使用の場合)	初期ストロークでも1度で切れない長さのリベットがありますので、その場合は2度引いてください。
モーターが起動しない。	電池パックが充電されていない。	電池パックを充電してください。
	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	過負荷による電池パックの保護回路の起動。	過負荷の原因を取り除いてください。フレームヘッドに溜まったゴミを取り除いたり、フレームヘッド内部の部品が正しく組付けられているか確認してください。(P.22-25 参照)
	マンドレルコレクターユニットが外れている。	マンドレルコレクターユニットを取付けてください。(P.21 参照)
	マンドレルコレクターユニットが正しく取付けていない。	マンドレルコレクターユニットを取付ける際は最後まで回してください。(P.21 参照)
作業灯が点灯しない。	非点灯設定になっている。	作業灯切替ボタンで設定を変更してください。(P.21 参照)
正しく充電しても電池パックの使用時間が大幅に短い。	電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入してください。
満充電した電池パックを再度充電すると充電ランプが点灯する。	満充電の検知に時間がかかるため。	しばらくすると充電完了表示になります。
充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで充電してください。テレビ・ラジオから離してください。

症状	原因	処置
電池パックを差し込んでも充電ランプが点灯しない。	電源ケーブルが接続されていない。	電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。
	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。作業は電源プラグを抜いた状態で行なってください。
充電完了までに時間がかかる。	電池パックが熱を持っている（赤点滅・充電待機中）。	電池パックが冷えてから充電してください。
	電池パックが冷えている。	電池パックを 10℃以上の場所で一時間程度放置してから充電してください。
マンドレルコレクターが外れない。	マンドレルコレクター内でマンドレルが引っ掛かっている。	マンドレルコレクターのタンクを取り外し、中のマンドレルを取り除いてください。(P.20 参照)
	マンドレルコレクター内にマンドレルをため過ぎている。	定期的にもンドレルを廃棄してください。(P.20 参照)
切断されたマンドレルがノーズピース先端から突き出る。	ノーズピースの構造上、ご使用になられているリベットの長さ、マンドレルの破断面の状態によりマンドレルが突き出すことがあります。	突き出たマンドレルを取り除いて作業を継続してください。 マンドレルの破断面が尖っています。 手を傷つけないようご注意ください。
リベットの保持が弱い又はできない。	平行ピンの動作不良	ノーズピースの清掃を行なってください。 (P.26 参照)
	平行ピンを押えている O リングが破損している。	新しい O リング (S-10) をノーズピースに取付けてください。 (p.26 参照)

